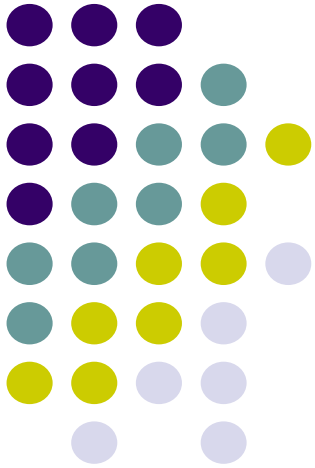
決　算　説　明　資　料

（2013年3月期第2四半期決算）



2012年11月６日

東証２部・大証２部

オーナンバ株式会社

目次

1. 決算の概要（BS、PL、C/F）
2. セグメント別業績
3. 2013年3月期上半期のトピックス
4. 2013年3月期下半期の経営戦略
5. 2013年3月期業績予想

１．決算の概要

－ＰＬ－　　『売上高は増加するも利益は前年を下回る』

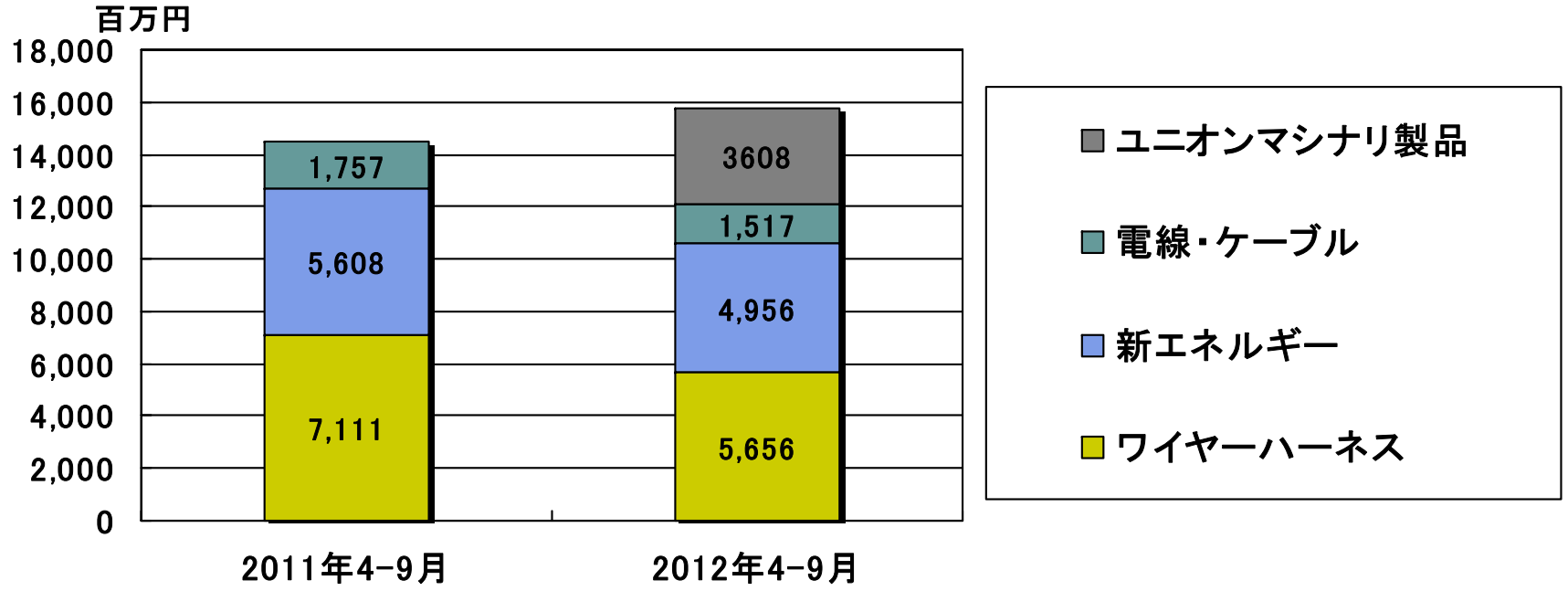
（単位：百万円）

科目	2011年4-9月		2012年4-9月		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	14,476	100.0%	15,737	100.0%	1,260	8.7%
売上原価	11,732	81.0%	12,895	81.9%	1,163	9.9%
販売費・一般管理費	2,252	15.6%	2,696	17.1%	444	19.7%
営業利益	492	3.4%	145	0.9%	-346	-70.5%
営業外収支	31	0.2%	-252	-1.6%	-283	―
経常利益	523	3.6%	-106	-0.7%	-630	―
特別損益	-57	-0.4%	-52	-0.3%	5	―
四半期純利益	207	1.4%	-303	-2.0%	-510	―

前年同期との比較（増減内容）

- ・売上高は、薄型テレビ内部配線用ハーネスを主としたワイヤーハーネスと太陽光発電配線ユニットの売上が減少したが、新たにグループに加わったユニオンマシナリ社の売上が寄与し、前年度を上回った。
- ・販売費・一般管理費は、ユニオンマシナリ社の加入により同社の費用が加算された影響。
  費目別では、給与・手当（140百万円）、荷造運送費（47百万円）、旅費交通費（34百万円）、支払手数料（36百万円）等が増加した。
- ・営業外収支は、為替差損（104百万円）とデリバティブ取引解約損（164百万円）により大幅に悪化した。
- ・特別損益は、固定資産売却益の減少、投資有価証券評価損の減少などにより、前年度並みの数値となった。

【製品別売上高】



・太陽光発電配線ユニットを含む新エネルギーの売上は、欧米での需要減に加え、販売価格低下が響き減少した。
・ワイヤーハーネスの売上は、薄型テレビ内部配線用ハーネスが大幅に減少した他、国内の産業用・事務機器用の売上が減少した。
・電線・ケーブルの売上は、前年の東日本大震災の復興を見込んだ特需がなくなり減少した。

【主要製品別売上高】

（単位：百万円）

	2011年4-9月	2012年4-9月	増減
太陽光発電配線ユニット	5,539	4,902	-637
薄型テレビ内部配線用ハーネス	1,495	599	-896
自動車搭載部品用ハーネス	435	480	45
アミューズメント用ハーネス	247	256	9
工作機械用ハーネス	247	213	-34

・薄型テレビ内部配線用ハーネスの売上は2009年3月期をピークに年々減少している。
・自動車搭載部品用ハーネスの売上は過去４年間ほぼ横ばいで推移している。
・アミューズメント用ハーネスの売上は東日本大震災後の節電対応で投資が減少し、今年度もその状況が続いている。
・工作機械用ハーネスの売上は海外での景気後退の影響により減少した。

【設備投資の状況】

	2011年4-9月	2012年4-9月	増減
有形固定資産取得額	418	268	－150
減価償却費	277	294	＋17

（単位：百万円）

主な投資内容
　特記すべき大型の投資はない。

【人員増減】

	2011年9月末	2012年3月末	2012年9月末
従業員	4,184人	4,048人	4,636人
臨時従業員	271人	247人	288人
合計	4,455人	4,295人	4,924人

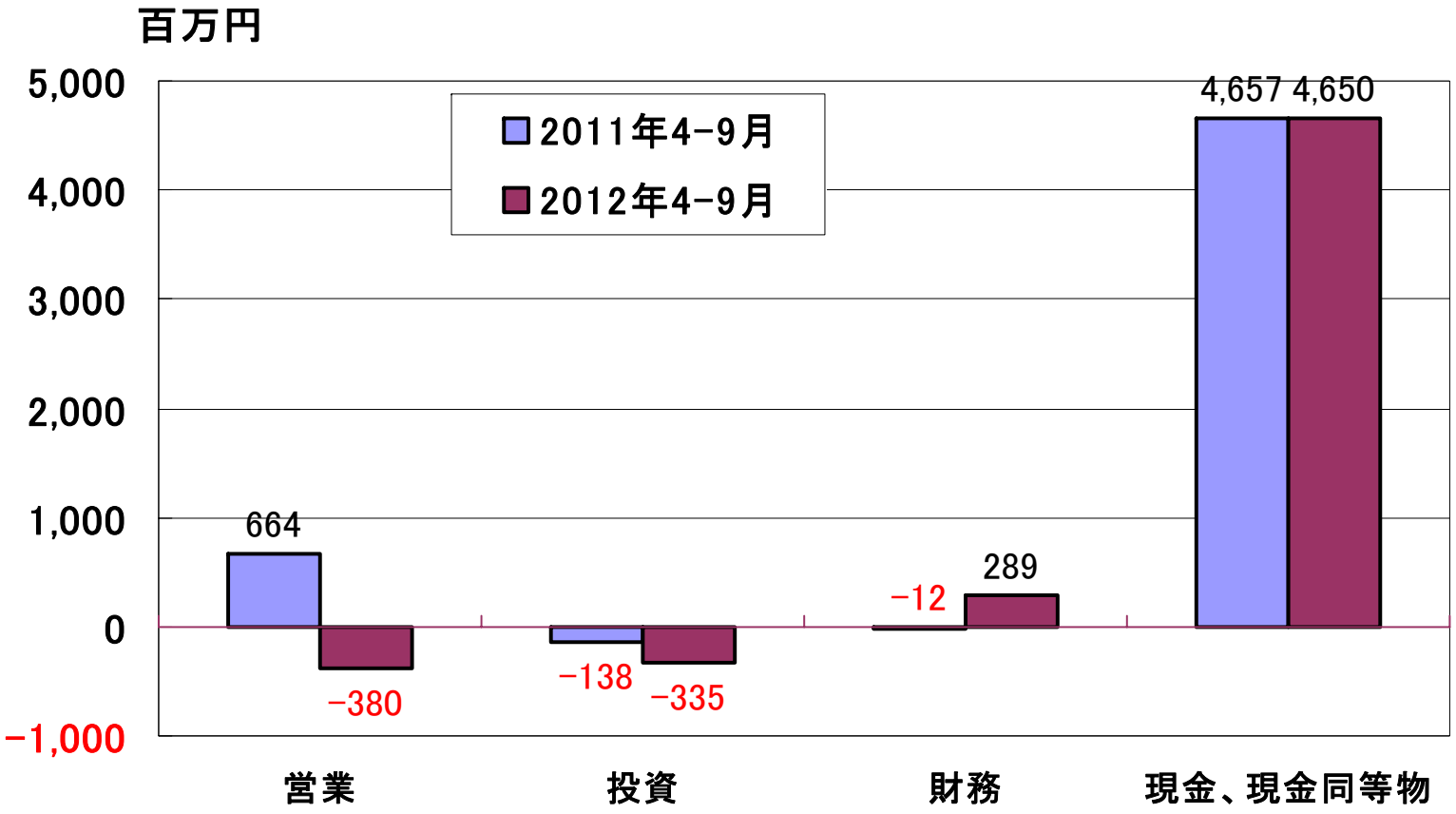
増減の理由
　ユニオンマシナリ社がグループに加わったことにより増加した。

－ＢＳ－　　『子会社の増加により資産・負債が増加』

科　目	2012年3月末		2012年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	17,138	76.2%	20,186	70.9%
（現金及び預金）	5,250	23.3%	4,871	17.1%
（売掛債権）	7,082	31.5%	9,363	32.9%
（棚卸資産）	4,229	18.8%	5,337	18.7%
固定資産	5,362	23.8%	8,297	29.1%
（有形固定資産）	3,479	15.5%	5,422	19.0%
資産合計	22,500	100.0%	28,484	100.0%
流動負債	8,471	37.6%	12,967	45.5%
（買掛債務）	4,413	19.6%	6,214	21.8%
（短期借入金）	2,605	11.6%	5,348	18.8%
固定負債	2,697	12.0%	4,489	15.8%
（長期借入金）	2,172	9.7%	3,537	12.4%
負債合計	11,169	49.6%	17,457	61.3%
純資産計	11,331	50.4%	11,026	38.7%
負債・純資産合計	22,500	100.0%	28,484	100.0%

・ユニオンマシナリ社のグループ加入により資産・負債とも増加し、自己資本比率は低下した。

-C/F-　【キャッシュフローの状況】

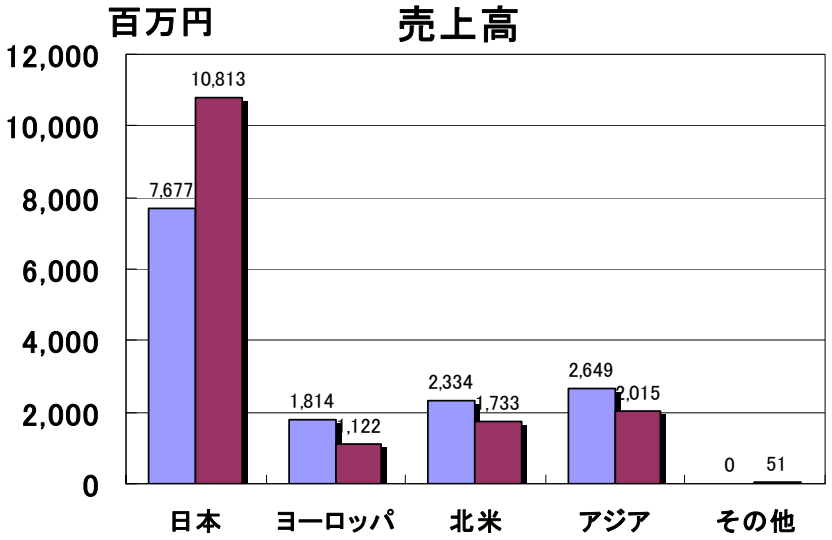


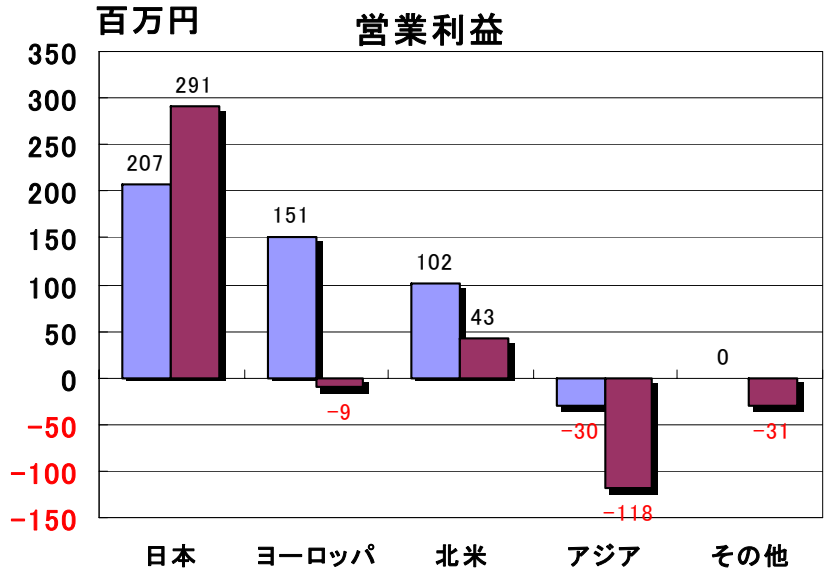
営業C/Fは当期損失と運転資金の増加で前年度より減少。投資C/Fは有形固定資産の取得と新規連結子会社の取得で減少。財務C/Fは借入金の増加で前年度より増加。

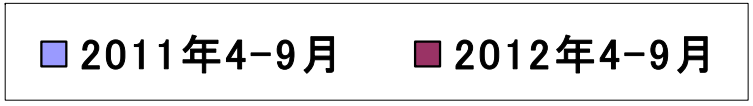
２．セグメント別業績

【セグメント別売上高・営業利益】

日本の売上、営業利益が増加し、他のセグメントは売上、営業利益が減少した。







３．２０１３年３月期上半期のトピックス

① 中国新販社設立。運営開始

２０１２年８月に中国上海に新販売会社を設立した。今後、主として中国に進出している日系メーカーを中心に営業展開を進め、受注拡大につなげていく。

②新エネルギー製品の日本国内販売の強化

再生エネルギーの全量買取制度の開始に対応し、太陽光発電関連製品の拡販に注力している。PVU－Finder，延長ケーブル、接続箱等。

４．２０１３年３月期下半期の経営戦略

①新エネルギー関連製品の販売拡大に注力

PVU－Finder、接続箱、蓄電池・EV自動車・スマートメーター等の内部ハーネス。

②総原価低減活動の強化

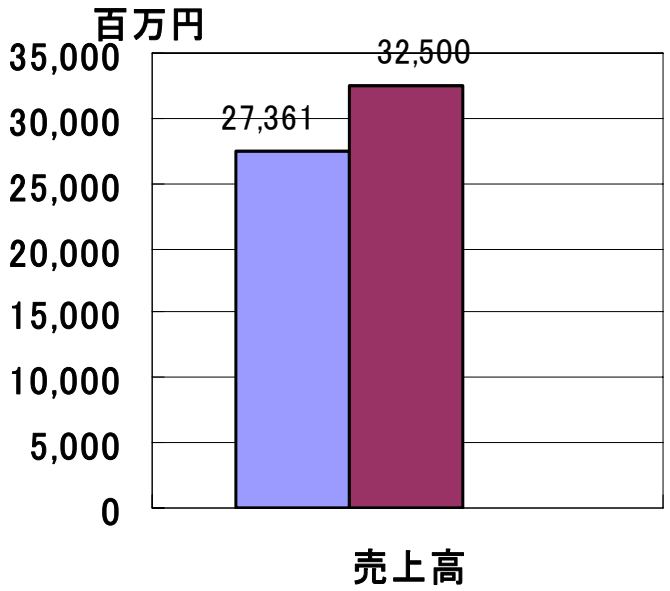
材料の現地調達、生産性の向上、歩留りの向上、物流費の削減等。

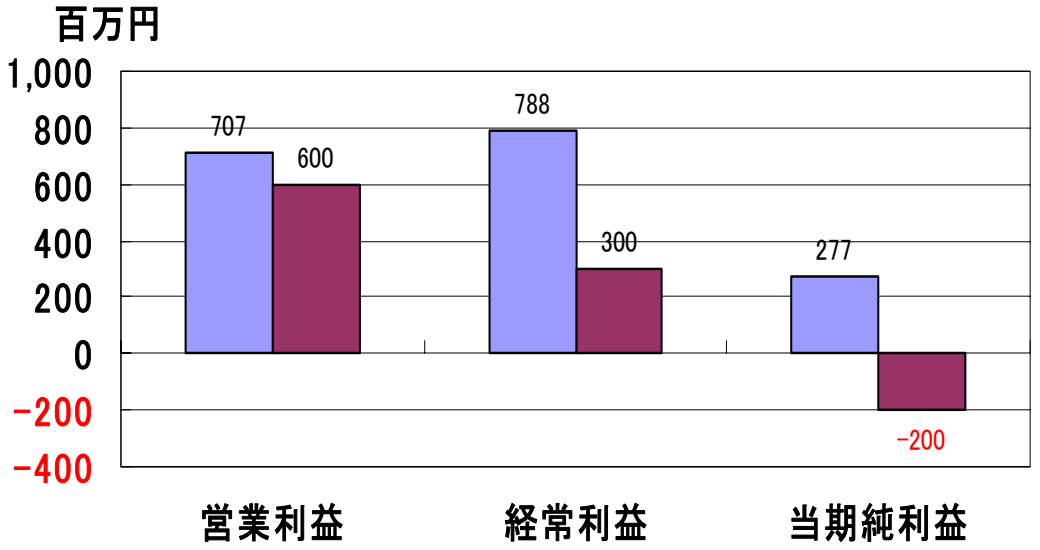
③新製品開発、新規市場開拓の促進

ユニオンマシナリ社とのシナジー効果の実現にも注力。

５．2013年3月期業績予想

今期の業績予想は10月23日に修正値を公表。







本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。